IT活用法Ⅱ　ＧＰＳ新サービス　現在位置確認リストバンド（仮）

よろしくお願いします。今回我々が提案する新サービスは、ＧＰＳ機能を使い高齢者の方と、その家族や介護者の方も安心して外出を見守れるＧＰＳサービスです。

（スライド）目次です。最初にこのサービスの目的を説明します。そしてその目的に類似したサービスを紹介します。次にこれらのサービスの問題点を言い、それらを改善した新製品を発表します。そこから資金計画と、今後の改善点を説明したいと思います。

（スライド）まずは、このサービスの目的です。機能は2つあり、１つは高齢者の方の居場所を家族や保護者の方が把握できるということ。もう1つがこの商品を使用している高齢者の方本人にも安心して外出を楽しんでもらうという機能です。

（スライド）こういった被保護者の現在位置を把握するサービスは他にもあります。1つは「au　安心ナビ」です。これは携帯を子供に持たせることで親が子供の居場所をＧＰＳで把握できるというサービスです。他にも子供が特定のエリアに入ると自動で通知が送られる機能など、多機能なことが特徴になっています。

もう１つは「ＧＰシューズ」という製品です。この商品は、靴に超小型のＧＰＳを搭載したものです。これによって使用者は違和感なく生活しつつ、家族はその装着者の現在位置を把握できるという製品になっています。

（スライド）しかし、これらの製品は居場所の把握だけが目的になってしまい、実際に製品を持ち歩いている高齢者の方などにはメリットを提供できてはいません。そこで装着者の方の居場所を把握できるという機能を持ちつつ、それに加えて端末を持っている高齢者の方本人が、自分は今どこにいるのかを、分かりやすく把握できるという機能を併せ持った製品を我々は提案します。

（スライド）この商品は腕時計のようなリストバンド型です。ＧＰＳが内蔵されており画面に地図を教示させます。その地図にはグーグルマップのようにありとあらゆる情報が表示されている地図ではなく、現在地、目的地、自宅の三点のみの情報を表示させます。これによって非常にシンプルな地図で、分かりやすく自分の居場所と目的地を把握できます。現在の日本は平均の健康年齢が非常に高くなっています。そのため高齢の方でも元気に散歩しているということも珍しくありません。しかし、これは私の祖父もそうなのですが、旅行先などで散歩に出かけたときに道に迷ってしまって、帰りが遅くなるということもしばしば起こります。この商品があればそのような心配もなく散歩に出かけることができます。リストバンド型で防水なので常に身に着けていれば忘れるということも少なくなると思います。

そして、この商品はまず、老人ホームに提供したいと考えています。現在の老人ホームでは、職員の職務の激化に伴って、散歩や外出の機会がほとんどないという施設もあります。この製品があれば比較的健康な入居者であれば、一人での外出も許可される場合もあるのではと考えています。そうでなくともＧＰＳの機能によって老人ホーム職員の方の負担が軽減されるのと同時に、高齢者の方もこの製品を手に取ってより外に出ようというモチベーションが高くなるのではと思います。

（スライド）これらのサービスに必要な費用は以下の通りです。第一段階の目標金額が達成されたら、第二段階のストレッチゴールとして一般家庭への提供のための投資を募るつもりです。投資へのリターンとしては老人ホームへの優先入居権、感謝の文章を送るサンクスメールや介護グッズなどを予定しております。

（スライド）最後に今後、改善したい項目を説明します。今回は「分かりやすい地図」を言葉だけで紹介したのですが、具体的に分かりやすい地図とはどのようなものなのか、絵や画像などで説明できるようにしたいと考えています。そして老人ホームの実態について、より理解を深めたいと考えています。老人ホームで入居者の外出の機会が減っているという問題には様々な理由がありそうなので、この製品で本当にその問題を解決できるかというところを含めて検討していきたいと思っています。次に自分たちの家族の祖父母などに実際に話を聞き、このようなサービスにはどのようなものが求められているか調査したいと考えています。そして予算は今回、ややアバウトなものになってしまったため、再度具体的なものに見直したいと思います。

今回はこれで以上となります。ありがとうございました。